

日立化成株式会社の試験成績書への不適切な数値の記載等
に対する調査結果について

1. はじめに

日立化成株式会社（以下、「日立化成」という。）が「産業用鉛蓄電池の一部製品における検査成績書への不適切な数値の記載等について」を6月29日に公表したことを踏まえて、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、および柏崎刈羽原子力発電所の安全性への影響について確認しました。

2. 試験成績書への不適切な数値の記載等に関する公表情報

日立化成は、名張事業所（三重県名張市）で生産している産業用鉛蓄電池の一部製品について、顧客との間で取り決めた電池容量に関する出荷時の試験方法とは異なる社内の試験方法を採用し、さらに実測値とは異なるデータを試験成績書に記入して顧客に提出していたとのことです。

現時点で本件に起因する性能上の不具合は確認されておらず、日立化成としては、製品そのものの性能及び安全性に問題はないものと考えているとのことです。

3. 日立化成製品の使用状況

当社原子力発電所の発電設備で使用している試験成績書への不適切な数値の記載等のあった日立化成製品は、制御弁式据置鉛蓄電池、ベント形据置鉛蓄電池であり、主な使用箇所は以下のとおりです。

鉛蓄電池の種類	主な使用箇所
制御弁式据置鉛蓄電池	常用系直流電源設備 (電源設備制御用、通信設備用)
ベント形据置鉛蓄電池	常用系直流電源設備 (電源設備制御用) 非常用系直流電源設備 (電源設備制御用、プラント制御用) 新規制基準対応設備 (シビアアクシデント用)

4. 日立化成製品の技術的評価

試験成績書への不適切な数値の記載等のあった蓄電池について、以下の検証結果から蓄電池容量の要求性能は満足していることを当社が確認し、継続して使用できると判断しました。

なお、名張事業所の工場調査の結果、今回の不適切行為は容量試験に関する試験成績書への不適切な記載等であり、容量試験以外の試験について不適切行為は認められていません。

(1) 製造工程の適切性

日立化成名張事業所で製造した蓄電池については、製造プロセスが適切に定められており蓄電池容量が十分確保される製造工程であることを確認しました。

(2) 蓄電池容量の妥当性

全ての種類の蓄電池は、日立化成の社内容量検査を実施し、そのうち一部の蓄電池は、更に顧客であるプラントメーカーまたは電力会社の立会検査にて適切な試験方法で蓄電池容量試験を実施し、必要な容量を満足していることを確認しました。

また、日立化成製の蓄電池は、日立化成の過去の社内容量検査結果から電池容量のバラツキが小さく安定した製造状態であり、立会検査を実施した蓄電池と同等の容量を有していることを確認しました。

(3) 当社の点検状況

現状使用している日立化成製の蓄電池について、巡視点検や定期点検時に異常がないことを確認しました。

5. まとめ

当社は、上記の結果から日立化成製品の健全性に問題がないことを評価しており、当社原子力発電所の安全性への影響はないと判断しました。

なお、非常用系直流電源設備及び新規規制基準対応設備については、念のため蓄電池容量試験または取替を停止期間中に実施することを計画します。

以上